

## 目標値の設定

	目標項目	H26年度状況	目標値
栄養・食生活改善	・朝食の欠食率の減少	共通 11.0%	10%以下
	・食事の内容や量に気をつける人の増加	中学生 62.4% 20~60歳代・70歳 61.1%	80%
	・減塩やうす味を実行する人の増加	56.1%	85%
	・食生活改善推進員数 健康や栄養について学習の場の提供とその推進を図る人の増加	※77名	100名
身体活動の推進	・健康により運動習慣のある人の増加	割合 21.3%	50%
	・運動不足と思っている人の減少	割合 75.4%	50%
禁煙・節酒の推進	・禁煙・節煙をしようと考えている人の割合の増加	30.2%	80%
	・初めてタバコを吸った時期	中学生の頃 0.8% 16~19歳 31.7% 20歳以降 50%	中学生の頃 0% 16~19歳 0% 20歳以降 100%
	・たばこが勉強や運動に悪影響があることを知っている中学生の割合の増加	77.8%	90%
	・乳幼児の母親で喫煙している人の割合		0%
	・公共の場の禁煙実施の拡大		100%
	・節度ある適正な飲酒量を知っている		50%
	・多量飲酒者(1日3合以上)の割合の減少	2%	1%以下
	・眠れないとき、悩みがあるときに飲む人の減少	1.2%	1%以下
	・未成年飲酒0%の維持		100%
	休養・心の健康	・ストレスを解消できていない人の減少	32.4%
・睡眠で休養が十分とれていない人の割合の減少		24.2%	20%以下
・眠りを助けるための睡眠補助剤やアルコールを使うことのある人の減少		11.4%	10%以下
・主観的健康観が高い人の割合の増加		中学生 89.5% 20~60歳 75.9% 70歳 76.9%	中学生 90% 20~60歳 80% 70歳 80%
歯の健康	・3歳児でむし歯のない幼児の割合	85.5%	90%
	・定期的にフッ素塗布を受けたことがある幼児の割合	※91.8%	95%
	・12歳児の1人平均むし歯本数	※0.48本	0.3本
	・歯間清掃具使用者の増加	55.8%	70%
	・70歳で20本以上の歯を持っている人の増加	50.8%	60%
	・定期的な歯科検診受診者の増加	18.5%	25%
健診の推進	・歯周疾患検診受診率の増加(40歳・50歳・60歳・70歳)	※3.2%	10%
	・特定健診の肥満指標の改善	※35.2%	25%
	・特定健診の高血圧指標の改善	※48.4%	35%
	・特定健診の糖尿病指標の改善	※48.9%	40%
	・特定健診の高脂血症指標の改善	※20.7%	10%
	・特定健診の禁煙指標の改善	※17.3%	7%
	・特定健診の受診率	※47.6%	60%
	・胃がん検診の受診者数	※954人	1,000人
	・子宮がん検診の受診者数	※620人	650人
	・乳がん検診の受診者数	※645人	680人
	・肺がん検診の受診者数	※1,263人	1,650人
	・大腸がん検診の受診者数	※1,217人	1,600人
	・胃がん検診の精検受診率	※62.8%	100%
	・子宮がん検診の精検受診率	※60.0%	100%
	・乳がん検診の精検受診率	※89.3%	100%
・肺がん検診の精検受診率	※70.0%	100%	
温泉利用	・温泉を利用している人の割合	66.8%	80%

※は平成25年度の実績

発行：山形県大江町健康福祉課

平成27年3月

〒990-1101 山形県西村山郡大江町大字左沢 882-1  
☎0237-62-2114



### 基本理念

## 「生きがいを持てる健康社会の創造」

町の原点である「人」が、こころ豊かな暮らしの維持を継続できることの大切さは、町民が共有する想いです。「人」がこころ豊かな人生を有意義に暮らすためには、からだ健康であるとともに、家族や地域、職場や学校等で、それぞれの社会に積極的に参加し、自分らしさを発揮し、生きがいを持つことがとても大切と考えます。

### 基本目標

基本理念に基づき、基本目標として、「日常生活が制限されることなく、豊かな生活の場、元気に楽しく過ごせる日々の創造による健康寿命の延長」の施策を展開します。

### 計画の方向性

- その1 住民の一人ひとりの主体的な健康づくりへの支援
- その2 みんなで支え合う健康づくりのための体制づくりを支援
- その3 生涯を通じた健康づくりの推進

### 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度から平成36年度までの10ヶ年の計画として策定

## 計画の体系

基本理念	基本目標 (目指す街の姿)	基本計画	基本施策
生きがいを持てる健康社会の創造	健康寿命の延伸 生活習慣を改善し、 生活習慣病を減らす	正しい生活習慣の獲得と健診等の推進で生活習慣病の減少 — 自助 — 「自らの健康は自らが守る」	① 栄養・食生活の改善 ② 身体活動・運動の推進 ③ 禁煙・節酒の推進 ④ 休養・心の健康づくりの推進 ⑤ 歯の健康の推進 ⑥ 健診の推進 ⑦ 温泉を利用した健康づくりの推進
	地域ぐるみで、 活気のあるまちづくり	地域での社会参加を通じて、 自ら地域の健康づくりに参加 — 互助・共助 — 「仲間づくりや社会参加で健康推進」	① 地域スポーツ交流への参加・支援 ② 地域の食育活動への参加・支援 ③ 介護予防活動への参加・支援
	生涯を通じて 健康づくりに 参加するまち	乳幼児から高齢者まで切れ目のない健康づくり — 公助 — 「情報提供や健康づくり体制の推進」	① 乳幼児期の健康づくり ② 学童期から青年期の健康づくり ③ 青年期の健康づくり ④ 中年期の健康づくり ⑤ 高齢者の健康づくり

## 健康づくりにおける、領域別方向性

	対策の方向性 栄養・食生活改善	対策の方向性 身体活動・運動の推進	対策の方向性 禁煙・節酒の推進
町民	・朝食をかならず食べる ・栄養バランスの良い食事を取る ・塩分の取り過ぎに注意する ・食事の量を意識して肥満にならないようにする ・食育や栄養教室、料理教室に参加する	・生活の中で運動活動を取り入れる ・好きなスポーツをつくり実施する ・スポーツや運動活動の仲間をつくる	・禁煙・節酒への努力 ・未成年の禁煙、禁酒の指導
地域・職場・家庭	・食育体験や活動への支援 ・食育活動への参加の呼びかけ ・家族で共食をする回数を増やす ・保育所・学校の食育活動への協力	・運動教室の開催や誘いかけ ・地域で運動グループを育成・支援 ・総合型地域スポーツクラブの支援 ・運動・スポーツの初心者受入支援	・地域で未成年がたばこを買えない、飲酒ができない環境づくり ・地域の集まりの場での禁煙・飲酒の強要の根絶
行政	・出前講座で食生活・食育のテーマを取り上げる ・食生活改善推進員の養成及び食生活改善推進協議会への活動支援 ・乳幼児健診等で離乳食や栄養バランスの指導の充実 ・生活習慣病予防教室の充実	・保育所、学校でのスポーツ促進 ・町の運動イベントの継続、充実 ・生活習慣病予防の運動指導 ・ロコモティブシンドロームの予防 ・介護予防・生活支援総合事業の推進	・禁煙への啓発 ・喫煙に関する健康指導(妊産婦から高齢者まで) ・アルコール中毒に関する健康指導等 ・学校教育の場での禁煙、節酒啓発 ・公共の場での禁煙の拡大

## 健康づくりにおける、それぞれの役割



	対策の方向性 休養・こころの健康	対策の方向性 歯の健康	対策の方向性	対策の方向性
町民	・休養をとることを心掛ける ・こころの健康についての知識の習得	・毎食後の歯磨きの励行 ・定期歯科検診の受診	・特定健診がん検診への受診、特定保健指導・健康相談への参加 ・自分の年齢にあった生活習慣病の知識の習得努力 ・喫煙習慣からの脱却、飲酒習慣の見直し、食べ過ぎ防止	・身体を温めての運動効果や、温泉の持つ癒し効果の活用を図る
地域・職場・家庭	・ゲートキーパーの配置 ・地域での啓発活動の支援、声掛け ・家族・学校・地域の子育て連携 ・高齢者見守り支援	・子どもの口腔ケアの指導 ・健康教室での歯科衛生対策の普及	・生活習慣対策の講座や受診への誘い掛け ・健康イベントへの参画促進	・家族・地域ぐるみで温泉の活用 ・単位老人クラブ毎の温泉施設活用と参加の呼びかけ
行政	・ゲートキーパーの養成としくみづくり ・こころの健康やうつ病に対する啓発・相談体制の整備 ・介護予防、生活支援サービスにおける支援	・乳幼児健診時のフッ素の塗布の実施 ・小中学校でのむし歯予防教育・フッ素洗口(希望者) ・口腔衛生に関する啓発の実施 ・成人歯科健診の受診率	・受診勧奨等による受診率向上 ・健康指導、健康教室等の実施や内容の充実 ・保健師・管理栄養士等による訪問指導の強化	・さわやか健康づくり事業(入湯券の助成) ・温泉施設での健康教室・健康相談の開催 ・温泉アドバイザーの養成と活用 ・温泉施設での介護予防教室の開催